



コラボ通信

第 38 号
2013 年 11 月 1 日



CCC(コミュニティ・コラボレーションセンター)とは・・・

学生が学外で生きた学びを得られるように支援する教育機関です。地域、社会、世界の人々と出会い、協働することで、大学で学んだ知識を活かしたものにしていけるようにサポートしています。これまでに、多くの学生が CCC を通して、地域に飛び出し、NPO や市民団体、企業などと連携して共に活動しています。



夏休みボランティア活動報告

長久手キャンパス

「子ども平和フォーラム」

荒木 ありさ さん (英文学科 3 年)

主催:名古屋学生青年センター 期間:8 月 19 日~21 日

＜子ども平和フォーラムとは＞

国籍や年齢などさまざまな違いを超えて、子どもたちが楽しく交流を深めてほしいという思いから始まった名古屋学生青年センター主催のプログラムです。

＜感想＞

泊まり掛けの活動ということで、緊張感を持って子ども達と接した 3 日間でした。子ども達の笑顔にたくさん元気をもらい、「来年も来て！」と言われた時は本当にうれしく、ぜひまた参加したいと思いました。

子ども達の様子を見ていて、肌の色や国籍だけで偏見を持ち、壁を作ってしまうのは大人なのだと感じました。笑顔には人を幸せにする力があると思います。平和について子ども達と共に考えた 3 日間でしたが、子ども達の笑顔がこのまま未来まで続けば、平和に繋がると思いました。

取材:CCC 学生スタッフ 北垣 かなえ (英文学科 3 年)



星が丘キャンパス

「夏休み子ども日本語教室」

川本 晴美 さん (交流文化学科 1 年)

主催:名古屋国際センター 期間:7~8 月の各週 2 回

＜夏休み子ども日本語教室とは＞

日本語を母語としない 6 歳~15 歳の子どもを対象に、日常生活や学校に必要な日本語の指導をします。

＜参加しようと思った理由＞

将来、日本語教師になることが夢なので、日本語を母語としない子どもたちに日本語を教える経験のできるとも良い機会だったので参加しました。

＜感想＞

私は、小学 1~3 年生までの低学年グループに参加しました。集中力が切れるのが早いので、勉強ばかりでなく、ゲームなど楽しみながら日本語を学べるような工夫が必要でした。子どもたちは、みんな元気で、どこの国が出身であるとか、関係なく、日本語を学んでいて、私も楽しみながら教えることができて良かったです。また、ベテランのボランティアの方々と一緒にやるのができて、とても勉強になりました。これからも続けていきたいと思っています。

取材:CCC 学生スタッフ 瀧 亜紗美 (交流文化学科 3 年)





地域を動かす淑徳生！vol.2



●ういく●

長久手キャンパス

活動理念

東日本大震災を受けて、愛知県に避難してきた子ども達と地域の子ども達が共に楽しみ、学べるようなイベントを開催し、そのイベントを通じて子ども達と学生・地域の方々が共に歩いていけるような活動を目指しています。

メンバーの声

- ・1から自分達で創りあげたイベントなので、達成感がある！（心理学科2年）
- ・イベントに対してメンバー1人1人が自分なりに目標を持って取り組めた。
（メディアプロデュース学科2年）
- ・今年は子どもの目線に立って誰にでも楽しめる参加型のクリスマス会を作っていきたい！（教育学科2年）
- ・子ども達が自分達の企画したイベントで目一杯楽しんでいる姿を見て、感動した。（人間情報学科2年）



代表から一言

こんにちは！ういく代表の栗崎颯太（くりさき そうた）です！ういくのメンバーは、とにかくみんな底抜けに明るいです。夏のキャンプを終えて、より一層みんなの絆が深まり、明るくなりました！！「なにか新しい挑戦をしたい！」と思っている方、そして「子どもと思いきり遊びたい！」という方は、月曜日のお昼休みに長久手キャンパス332教室でミーティングをしているので、是非来てくださいね（´0`）／

取材：CCC学生スタッフ 安藤 佐哉（人間情報学科2年）

●名古屋コーチンもりあげ隊●

～横井遥さん（交流文化学科3年）からお話をいただきました♪～

星が丘キャンパス

活動内容

名古屋名物「名古屋コーチン」を若い人たちに知ってもらい、楽しんでもらう！ためのイベントの企画や、ブース出展を行うなどの活動をしています。まちづくりや地域活性化、地産地消に興味がある学生有志18名が今夏に結成しました。現在、イベント班とSNS・マップ班の2チームに分かれています。それぞれのチームが創意工夫し、エネルギーに名古屋コーチンの魅力を伝えます。

Good Points

「名古屋コーチン」という名古屋の食をキーワードに、まちづくりや地域との関わりに触れることができます。そして、今まで気付かなかった地域の魅力を知ることができます。自分のやりたいと思ったことに挑戦して、それが周りの人の影響する、笑顔にできる体験ができる場所だと思います。

ひとこと

名古屋市農業センターさんや東谷山フルーツパークさんなど活動をサポートしてくれる方がたくさんいます！わからないことや不安なことも理解してくれる人がたくさんいるので安心して活動できますよ！ぜひメンバーとして一緒に活動しませんか？



取材：CCC学生スタッフ 藤本 涼子（交流文化学科3年）

***キャンパスは、主な活動拠点地です。所属キャンパスでなくとも参加できます！**

CCC学生スタッフ 活動報告

●「大学ボランティアセンター 学生スタッフセミナー 2013」に参加してきました!!!●

全国の大学ボランティアセンターの学生スタッフが大集合! ボランティアについて考えたり、ボランティアセンターをもっと素敵な場所とするために、二日間の研修を通して皆で考えました。

(主催: 特定非営利活動法人ユースビジョン 日程: 2013年9月11日~12日 場所: 大阪市立青少年文化創造ステーション)

「ボランティアってなんだろう?」

ある人の活動を6パターンあげて、それはボランティアなの?ということを皆で考えました。

ちなみに、こんなパターンがありました。

(例) 学 生: ボランティアをすると単位をもらえると聞き、特別養護老人ホームで活動した

会社員: 会社の休みに地域の子どもたちに野球を教える少年野球のコーチをする

学 生: 交通費・食事代がでる児童館のクリスマス会に参加した

私たちは、これらのパターンをみて「この課題について何かしたい!」という優しい気持ちが判断のポイントではと感じました。他の学生スタッフさんの意見の中には「強制的なものはボランティアとは言えないのではないか」という意見や、「ただのお金って、判断が難しいよね」などの意見がありました。みなさんはボランティアってなんだと思いますか?



「学生スタッフの存在ってなんだろう?」

「学生スタッフが活動することで…」というテーマで改めて学生スタッフの役割を考えました。

学生スタッフの役割は、私たち学生が地域や社会づくりに参加する一歩を踏み出すお手伝いをする、参加側と受け入れ側の架け橋になること、さらにその双方が変化するような役割を担っているのではないかと学びました。このことはボランティア活動だけでなく、様々な場面でも同じことで、大切にしたいことだと感じました。



「CCCをもっと素敵なお場所にしたい!」

セミナーを通して、愛知淑徳大学にCCCがあることが、とても幸せなことだと実感しました!もっと多くの学生さんにCCCを知ってもらうと同時に、地域へ飛び出すことができるように、一緒に考えて行動していけたらと思います!

瀧 亜紗美 (交流文化学科3年)

色々な大学のボランティアセンターを知ることができ、学生スタッフさんがキラキラとお話している姿を見ることができました。そこにある「動かす力」や、自分たちのボランティアセンターを「愛する心」を感じました。私も負けなぞー!

藤本 涼子 (交流文化学科3年)

大学ボランティアセンター、学生スタッフと一口に言っても、全く同じということではなくて、センターごとに特色があることが分かり、おもしろいと感じました。学んだことを活かして、地域に、学生に、もっともっと愛されるセンターにしていきたいと思います!

三島 里紗子 (国文学科4年)

ボランティアカレンダー

11月～1月



ボランティア

11月	2(土)	多文化共生フォーラムあいち 2013
	3(日)	TUTTI まつり
	4(月・祝)	めいとうボランティア展
	4(月・祝)	名古屋市 農業センターまつり
	9(土)	ボラカフェ「ことばのできるボランティア」
	9(土) 10(日)	スペシャルオリンピックス 夏季地区大会
	10(日)	日進市 福祉フェスティバル
	16(土)	トヨタボランティアセンター「チャリティークオーク」～帰宅困難者体験～
12月	23(土)	デンソー デンソー緑のプロジェクト in 刈谷
	28(木)～12/4(水)	極楽苑 高齢者外出支援
	～10(火)	チェルノブイリ・福島の子どもたちへクリスマスカードを贈ろう！
	1(日)	キャンドルナイト名古屋
12月	7(土)	榎塚味噌蔵ツアー
	8(日)	名古屋市障がい者スポーツセンター クリスマス会
	8(日)	国際協力カレッジ 2013
	14(土)	白金児童館 キッズクッキング
	15(日)	国際交流フェスタ in KARIYA 2013
	各日	各児童館・福祉会館でのクリスマス会
1月	各日	高齢者外出支援
	各日	名古屋市内各児童館 もちつき大会

参加者の感想



名東児童館 クリスマス会
水谷 好さん
(交流文化学科2年)
当日は10分間のクイズ以外にも受付やビンゴの賞品の受け渡しをして、たくさんの子どもたちとふれあうことができました。子どもたちは、とっても元気がよくて、準備したクイズにも大きな声でこたえを言ってくれ、嬉しかったです。また今年も参加したいです。



榎塚味噌蔵ツアー

棚橋 聖良さん
(ビジネス学科2年)
榎塚味噌の野田社長の話を伺い、食とは「生きること」という言葉の温かさを感じました。また、食を見直すことで、日本を支える「産業」に繋がっていることを実感しました。
今回のツアーでは、日本の伝統のすごさを伝えつつ、伝統から考える地域産業についてみんなで考える機会にしたいです。



興味があれば

CCC スタッフまで♪

コラボ通信 38号

発行：愛知淑徳大学

コミュニティ・コラボレーションセンター

発行日：2013年11月1日

編集：CCC学生スタッフ

	長久手キャンパス	星が丘キャンパス
利用時間	9:00～18:30 (授業日以外 9:00～17:00)	
場所	11号棟1階	5号館1階
連絡先	0561-62-4111(代)	052-781-1151(代)
E-mail	asccc@asu.aasa.ac.jp	